

小中一貫教育カリキュラム検討まとめ

本市では、子どもたちに「豊かな育ち」と「確かな学び」をはぐくむことをめざして、小中一貫教育を推進している。平成23年度本格実施に向け、昨年度は小中一貫教育カリキュラムについて社会、算数・数学、理科について、箕面市教育研究会を共同で研究を行い、箕面市教育センター研究紀要第42号にまとめた。

今年度は、音楽、図工・美術、体育・保健体育、家庭・技術家庭、道徳について箕面市教育研究会と共同で研究を行い、その検討結果を研究紀要にまとめた。

なお、図工・美術及び道徳についてはより詳しいカリキュラムをCDROMの中に収録していますのでご活用ください。

箕面市教育研究会

小学校音楽部会

中学校音楽部会

小学校図工部会

中学校美術部会

小学校体育部会

中学校保健体育部会

小学校家庭科部会

中学校技術家庭科部会

小学校道徳部会

中学校道徳部会

音楽科

「音楽への関心・意欲・態度」

小学生でも中学生でも合唱や合奏やアンサンブルを、仲間とともに創りあげる達成感や充実感を味わうことで、関心が高まったり意欲的になったりする。小学校、中学校ともに音楽会やクラスがひとつになって音楽を発表する機会などこれまでの実践は、大切にしたい。

「鑑賞の能力」

小中学校にある楽器の交流をした。世界の音楽からアジアの音楽に視点を吸えた時代に引き続き、とりわけ日本の伝統音楽の魅力に迫る工夫の材料として、箏のある音楽室や和太鼓のある音楽室をお互い知り、授業の交流をはかることができる。

「表現の技能」

小学生も中学生も曲に応じた音楽性をかもし出すための基本練習に、音楽理論の基礎理解が必要である。小学校までの理解度に各校でバラツキがあっても中学校で調整できるよう中学生のスタート時点で、「ト音記号の意味」「階名」「音名」「調号ひとつまでの調整」「基本的なリズム」をいちから指導していくことを小中連携で確認した。

「音楽的な感受や表現の工夫」

小学校6年生で変声期を迎えた児童が「へ音記号譜」(1オクターブ低くなる)を担当し、中学生の合唱譜と同じの3部合唱をすることができる。卒業式でよく歌われる「旅立ちの日に」をはじめ、「ビリーブ」「翼をください」「エーデルワイス」その他小・中学校どちらの教科書にもある歌唱では、小学校高学年児童の変声期を考慮して中学校の教科書の楽譜を利用することができる。

参考資料 (現行の小学校5年～中学校1年生の教科書教材配列一覧)

5年		6年		中学 1年			
題材名	教材	題材名	教材	音楽のおくりもの		器楽	
				題材	主要教材	選択教材	題材名
学年の歌	Believe	学年の歌	つばさをください	■詩のイメージを生かして	「青空へのぼろう」	「今、ここに」 「朝の光がまぶしい時は」	歌声をつくろう
ふしの重なり合いを感じ取ろう	◆こいのぼり いつでもあの海は やさしい風に	ふしの重なり合いを味わおう	思い出のメロディー ◆おぼろ月夜 ラバース コンチェルト	■情景と音楽	「魔王」	「春」 Let's Try! 音のスケッチー耳をすまそう	イメージをふくらませて聴こう
アジアの音楽に親しもう	◎アジアの国々の音楽 ◎アヒラン／まつり花 おはやしづくり ◆子ども歌	世界の音楽に親しもう	◎世界の国々の音楽 こげよ マイケル アンデスの祭り ◆われは海の子	■曲の特徴を探そう①	「メリー・ボピンズ」から	Let's Try! 音楽の諸要素のはたらき	旋律と和音のかかりを感じ取ろう
いろいろなひびきを味わおう	◎美しきロスマリン／白鳥 わたり鳥と少年	いろいろなひびきを味わおう	◎小犬のワルツ／紫色の小びん ほか 星空はいつも 風を切って	■曲の特徴を探そう②	「夢の翼」	Let's Try! 音楽の諸要素のはたらき	曲の雰囲気を感じ取ろう
重なり合う音の美しさを味わおう	静かにねむれ それは地球 ◎威風堂々 第1番	重なり合う音の美しさを味わおう	勇氣ひとつを友にして ◎赤とんぼ／箱根八里 星の世界 ◆ふるさと	■日本の伝統音楽の魅力	雅楽「越天楽」	雅楽の楽器	旋律の重なりを感じて歌おう
曲想を感じ取ろう	秋にさよなら ◎アイネ クライネ ナハトムジーク 第3楽章 自分の気持ちを曲で表そう。 ◆冬げしき キリマンジャロ	曲想を感じ取ろう	◎木 星 一日一歩の未来 広い空の下で	■くらしの中の音楽①	日本の民謡と芸能	「こきりこ節」	朝の風に
日本の音楽を味わおう	◎浜辺の歌／待ちぼうけ／荒城の月 ◆スキーの歌	日本の音楽を味わおう	◎春の海 ◆越天楽今様	■くらしの中の音楽②	アジアの音楽と芸能	「アヒラン」 「草原情歌」 Let's Try! 声のアンサンブルを楽しもう	歌詞と曲想のかかりを感じ取ろう
みんなで楽しく	海／ほたるの光 ゆかいに歩けば／世界がひとつになるまで 明日に向かって／大空よあなたのもとに 南風について／ふるさと つばさをだいて 生命のいぶき	みんなで楽しく	浜千鳥／あおげぼうとし 歌に 願いを／街は光の中に 歌よ ありがと／にじを歌って この星に生まれて 愛のテーマ コンドルは飛んで行く	■生き生きと表現しよう	「光の中へ」	「さようなら」 「マイ パラード」 Let's Try! 「モルダウの旅」	日本の音楽に親しもう
物語と音楽	走れメロス 君が代	物語と音楽	銀河鉄道の歌 君が代	■オーケストラの豊かな表現を味わおう	「ブルババ(モルダウ)」	Let's Try! 音のスケッチ 一様子を音楽で表そう	アジアの諸民族の音楽に親しもう
							心の歌
							合唱の喜び
							●…鑑賞教材◎…器楽教材
							明日という大空 太陽がくれた季節 歌声セミナー①
							●春(第1楽章) 音符や記号を覚えよう! 主人は冷たい土の中に ◎アドリブリーダー②Lesson1? ◎春
							歌声セミナー② 未定への飛躍 ●魔王
							あの鳥のように 朝の風に
							カリブ 夢の旅 作曲しよう! 若者たち
							●日本の楽器の響き(六段の調) ◎郷土の音楽 ◎箏 和太鼓で楽しもう!(即興)
							●アジアの諸民族の音楽 夏の思い出(心の歌) 赤とんぼ(心の歌)
							ふるさと 心拍きめて Blue Sky 涙をこえて Song Is My Soul マイ パラード 青春の1ページ Let's Search For Tomorrow [国歌] 君が代



図画工作科・美術科

一貫教育課程作成のねらいを「小、中学校のスムーズな接続を図るため、9年間を見通した系統的教育課程」「基礎、基本的な力をつけるための9年間を見通した指導内容の精選」を中心として取り組んだ。まず、小、中それぞれが、実際に授業で取り上げている題材、授業で子どもたちにつけたい力、大切にしている点、それぞれが目指す力、それぞれの課題、授業の実態などの交流・検討を重ね、小中一貫教育課程の作成を行った。その中で、様々な問題点や課題も見えてきた。

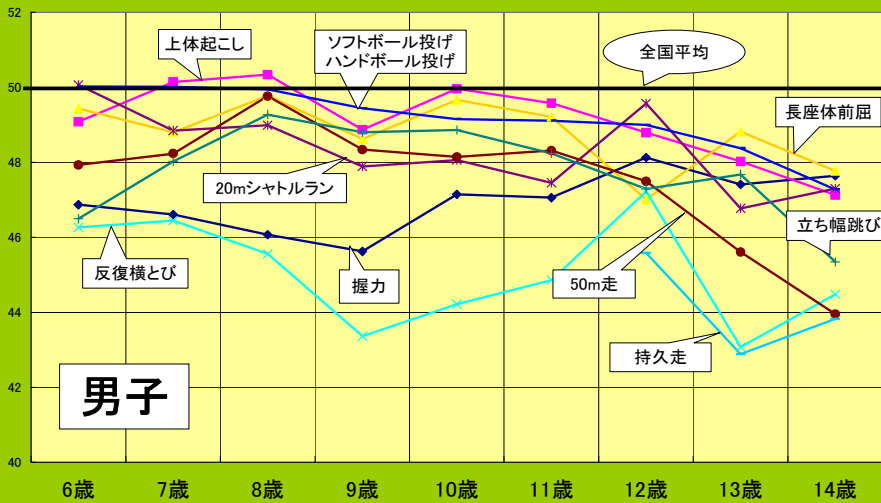
図工・美術学習計画表〔案〕

<小学校5年生～中学校1年生のみ抜粋>

	第5学年(50時間)	第6学年(50時間)	第7学年(45時間)	第8学年(35時間)	第9学年(35時間)
分野・領域 (A 表現)	目標： 材料や場所などの特徴をもとに工夫して、楽しい造形遊びができるようにする				
造形遊び	学習内容「教科書の題材名」 光の当て方を考えて美しいものを作る 「光とかげ」	学習内容「教科書の題材名」 風や光やいろいろな場所の使い方を考えて作る 「地球アート」			
分野・領域 (A 表現)	目標： 見たこと、感じたこと、想像したこと、伝えたいことを絵や立体に表現したりすることができるようにする		目標： 色彩、彫刻、立体の表し方の基礎的技能を身につける	目標： 日本及び諸外国の作品の独特な表現形式、技法などに関心を持ち自分なりの表現方法を見つけて表現する力をつける	
絵・立体 彫刻	学習内容「教科書の題材名」 混色の発展・応用 「思いを広げて」 紙粘土で見たものを作る 「曲げてねじって」 見たことを一版多色木版画で表す 「ほって刷って」 (左よりつづ) 自然や身のまわりのものをよく見て描く 「鉛筆で書く」	学習内容「教科書の題材名」 混色の発展・応用 「わたしの町」 紙粘土で想像したものをつくる 「のばして、まるめて、くっつけて」 感じたことを木版画で表す 「色を選んで」 伝えたいことをポスターで伝える 「心広がる場面」 自然や身のまわりのものを観察して描く 「鉛筆で描く」	学習内容「教科書の題材名」 自然や身近なものを観察しスケッチする 「鉛筆デッサン」 【彫刻】具象表現で塑像の制作 「立体に表す楽しみ」 様々な版画の基礎技法を学ぶ 「版のよさを生かして」 様々な技法(モダンテクニック)を使って制作 「想像の世界」	学習内容「教科書の題材名」 夢、創造したことをスケッチする 「遠近法を使って描く」 対象を深く見つめて描く 「自分らしさを見つけて」	学習内容「教科書の題材名」 自分の表現意図に合う表現方法を見つける 「名画の模写」 様々な技法を学ぶ 「流れる時をとらえて」 抽象表現で塑像作品の制作 「気持ちの形・思いの色」
分野・領域 (A 表現)	目標： 見たこと、感じたこと、想像したこと、伝えたいことを工作に表したりすることができるようにする		目標： 用途や機能、使用者の気持ちなどを考え創意工夫でつくる伝えたい内容を図や写真などで効果的に表現伝達する力をつける	目標： 使用者の気持ち、夢、想像などから発想し創意工夫でつくる伝えたい内容をコンピューター等映像メディアなどで表現する力をつける	
つくる(工作) デザイン・工芸	学習内容「教科書の題材名」 電動のこぎりを使い板材を切り抜いて制作 「くっつきパズル」 「卒業生への贈り物」	学習内容「教科書の題材名」 ランプシェード制作 「くねくねアート」 生活に使える箱の制作 「生まれ変わった板たち」	学習内容「教科書の題材名」 【デザイン】ポスターの制作の基礎 「伝えよう大切なこと」 【デザイン】色彩構成の基礎 「色との出会い」 【デザイン】レタリングの基礎を学ぶ 「文字を生かしたデザイン」 【工芸】自然物を使った造形 「自然の形や色を生かして」 【工芸】ランプシェードの制作 「光の表現・光の演出」 【工芸】紙を使った造形 「ポップアップカードの制作」	学習内容「教科書の題材名」 ポスターの制作の様々な技法 「伝えよう大切なこと」 木彫の基礎の学習 「手作りの楽しみ」 陶芸の基礎の学習 「土と炎の出会い」	学習内容「教科書の題材名」 PCを使ってポスターの制作 「伝えよう大切なこと」
分野・領域 (A 表現)	目標： 学習したことを基にみんなで協力し、アイデアを出し合い、学校行事などと連携し、共同での作り出す喜びを味わうことができるようにする		目標： これまでの学習経験や能力を生かしお互いの個性を生かし合い、協力して創造する喜びを味わうことができる力をつける		
複合(造形あそび絵、立体・工作・鑑賞)	「広がれアート」	「夢を集めて」(卒業制作)	「共同制作の魅力」(卒業制作)		
分野・領域 (B 鑑賞)	目標： 作品などを鑑賞し、それらのよさや美しさに親しむことができるようにする		目標： 想像力を働かせ、作者の心情、意図、表現の工夫を感じ取る力をつける	目標： 作者の心情、意図創造的な創造的な工夫などを理解し見方を深める日本および外国の美術を鑑賞し国際理解を深める	
鑑賞	学習内容「教科書の題材名」 インターネットを使って調べ学習 「よく見てみると」	学習内容「教科書の題材名」 インターネットを使って調べ学習 「願いや思いを形や色に」	学習内容「教科書の題材名」 インターネットを使って調べ学習 「生活とデザイン」	学習内容「教科書の題材名」 透視図法の学習 「北斎と遠近法」 インターネットを使って調べ学習 「日本絵画の造形美」	学習内容「教科書の題材名」 インターネットを使って調べ学習 「色彩の輝き」

体育科・保健体育科

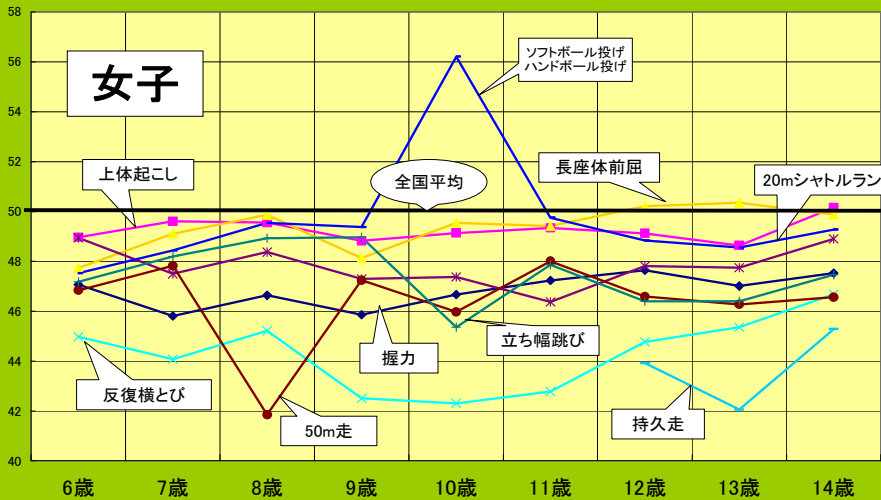
子どもたちの体力の現状－新スポーツテストから－



平成17年度の全国平均を50として平成18年度の大阪府の平均と比較したもの

男子は、多くの学年、ほとんどの種目において全国平均を下回る傾向が見られる。また、学年が進むにつれ全国平均から低下する傾向がみられる。

女子もほとんどの学年、ほとんどの種目において全国平均を下回る傾向が見られる。

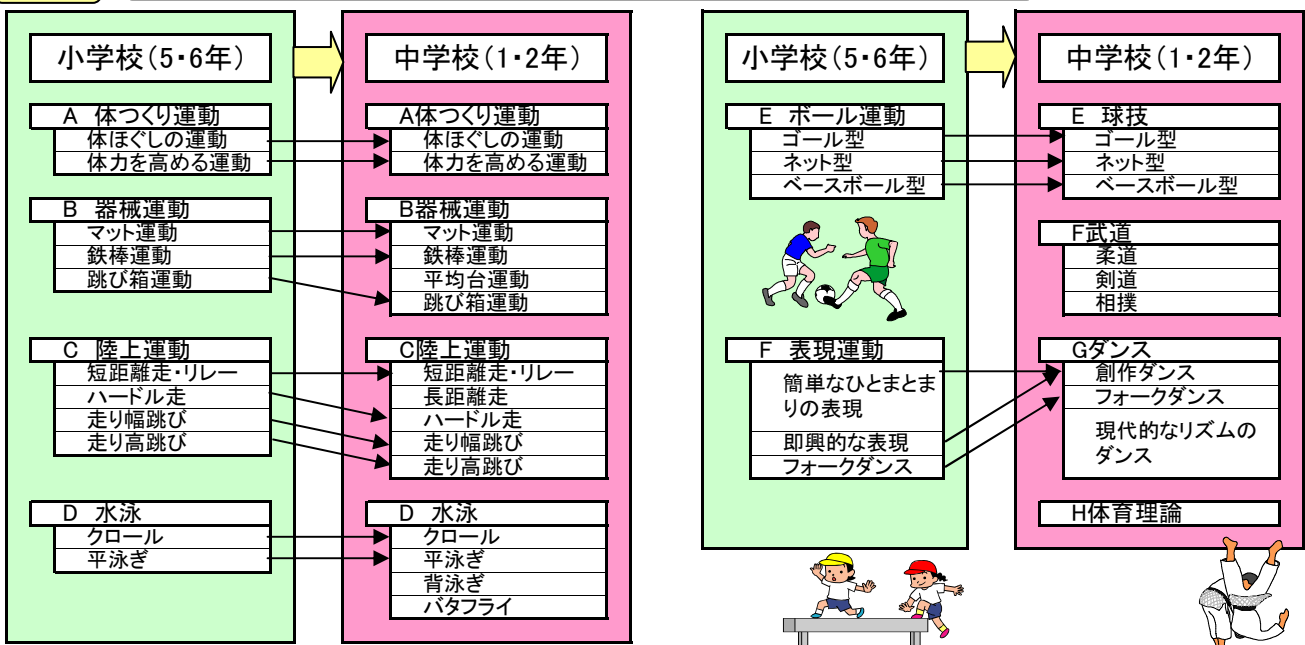


男子・女子ともに全国平均を下回り、種目別では「反復横跳び」「持久走」が全国平均からの隔たりが大きい。という特徴がみられる。

全校でスポーツテストの全種目を実施されている状況ではないので、正確に実態を反映しているとは言えないが、本市でも大阪府のデータとほぼ同じであると考えられる。

参考

新学習指導要領にみる体育領域の小学校高学年と中学校1・2年の学習内容



家庭科・技術家庭科

技術家庭科は実践力を培う重要教科として連携して指導していく必要がある

家庭科

■現状と課題

- ・基本的に家庭科は男子も女子も好きな子は多いが、子どもたちの実践力が落ちている。体験不足。
- ・中学校の家庭科の時間が週1時間(年間35時間)になり、充実した実習ができない。
- ・食育は社会的に重要視されてきている。保護者の意識も高く、指導したことが家庭で取り組み
- ・裁縫は親世代が取り組む姿を見たり一緒にする機会も激減している。雑巾を100円ショップで買い、繕い物などもほとんどせず、買い替えになっている。

■実践力の育成が重要課題→本来家庭が育む力だが今は学校が発信基地。

- ・小学校では実習をしたら、家庭で実践の宿題
- ・料理、片付け、裁縫、家事 一週間以内など少しロングスパンで課題。
- ・保護者のコメントも大事にしほめてあげる材料にする。当然配慮は大切であるが
- ・児童生徒の家庭仕事の重要性をいろいろな単元や学級で訴えていく。点検カードも有効。

■具体的に小学校と中学校の連携できること

- ・お弁当の本を中学校の先生に配布し、実習での活用。(H19年度末具体化済み)
- ・エプロン作成時中学校3年まで5年間使うことをイメージし大きめに作成。簡単すぎるセットをなるべくやめる。
- ・ナップサックを作成するときも5年間使うことを考えてデザインを選ぶ。

技術科

■現状と課題

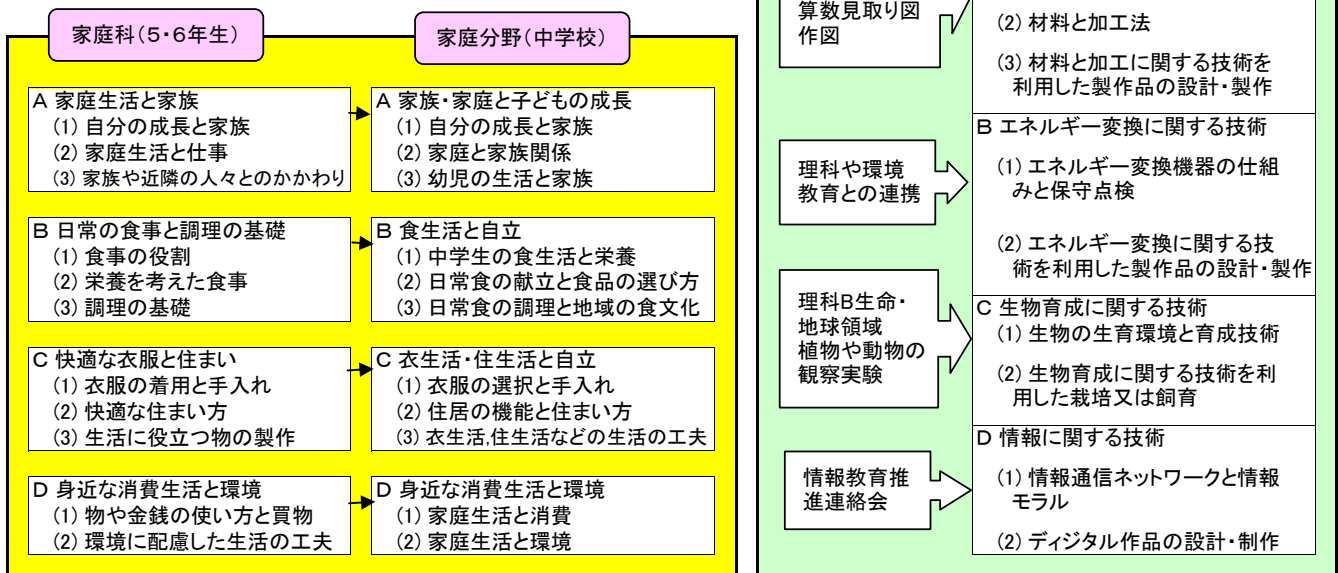
- ・技術分野は、教科的には中学校で初めて学習する教科
- ・時間が年間35時間になって授業内容が減り、生徒の技術の向上が図りにくくなった。
- ・クラス数の少ない学校では、技術と家庭を兼務する場合があり、専門的な学習が深まりにくい。

■具体的に小学校と中学校の連携できること

- ・情報に関する技術の学習は、情報教育推進連絡会等で情報交換やカリキュラムを検討してきている。
- ・情報モラルについても、小学校の学習内容との連続性が重要。
- ・材料と加工関係は、小学校の図工との連携が必要。基礎技術を指導することで中学校の指導がスムーズにできる。隣接校ならT・Tが可能。
- ・算数の作図や見取り図などをきちんと描くことのできる力をつけていると、内容に深く入れる。
- ・小学校理科の生物の学習は、観察や実験が中心だが、基礎的な育成技術を小学校の先生に指導すると失敗なく学習ができる。一緒に育成の準備作業することで教材研究もできる。

☆参考資料(新学習指導要領 技術家庭科の内容と小学校との関連)

新学習指導要領では、内容構成が小中同じになった。



道 徳

1. 基本的考え方

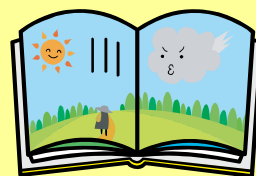
- ①小中9年間を見通し「豊かな心」を育てる。
- ②道徳教育は、学校の教育活動全体を通じて行う。
- ③それを補充・深化・統合するために、道徳の時間を年35時間確保する。
- ④道徳教育の目標は、人間尊重の精神と生命に対する畏敬の念を具体的な生活の中に生かすことなどを通して主体性のある日本人を育成するため、道徳的な心情、判断力、実践意欲と態度などの道徳性を養うことである。
- ⑤道徳の時間の目標は、道徳教育の目標に基づき、各教育活動における道徳教育と密接な関連を図り、計画的、発展的に道徳的価値及び人間としての生き方の自覚を深め、道徳的実践力を育成することである。
(例)ボランティア体験活動後に道徳の時間を活用し深めていく。
- ⑥道徳の内容は、主として「自分自身」「他の人とのかかわり」「自然や崇高なもののかかわり」「集団や社会とのかかわり」の4つの視点から捉え、小学校1・2年15項目、3・4年18項目、5・6年22項目、中学校23項目で学習指導要領に整理して示されている。
- ⑦道徳教育を基礎においた人権教育の実践を更に推進していく。

2. 発達段階に即した道徳の指導の重点(例)

前期4年				中期3年		後期2年			
小学校						中学校			
1年	2年	3年	4年	5年	6年	7年	8年	9年	
善悪の判断など				基本的な道徳的価値観の形成					
				道徳的価値に関する討論		キャリア教育などを通じた人間としての生き方			
自立・自律				自他の生命の尊重					

3. 指導にあたっての留意点

- ①教科等における道徳教育の視点を明確にし、整理することで、全教育活動における道徳教育を充実させる。それと道徳の時間との関連を図った年間指導計画を追求していく。
- ②道徳の時間の授業の質を向上させていくために、授業のねらいを設定し、資料の読みを深め、資料に登場する人間の表面には見えない姿を考えさせることができるような発問を研ぎ澄ますことに努める
- ③資料としては、道徳用副読本、箕面市道徳教育副読本、心のノート、にんげん、絵本、テレビ番組教材、ビデオ教材、エンカウンター授業等を子どもの実態に応じて柔軟に活用する。④異学年交流や体験活動を充実させる。
(例)自然体験、農業体験、奉仕活動、ボランティア体験、職業体験、集団スポーツ、芸術文化活動、古典・偉人伝の読書、民話・神話、茶道・華道・書道・武道。
- ⑤保護者・地域・各分野の人材を積極的に活用する。
- ⑥学校と家庭や地域社会が共に取り組む体制づくりや実践活動の充実を図る。
(例)「小さな親切」運動、「オアシス」運動等。
- ⑦副読本等資料の著作権についての配慮事項
 - ・1冊をコピーし児童生徒分印刷するのは原則的には不可。
 - ・研究授業などの参加者にコピーを配るのは不可。スクリーンに映すだけなら可。
 - ・詩や文章のコピーは出版社や著者の了解が必要。



4. 小中一貫教育における道徳教育で、中学校区で推進したい取り組み

- ①子どもの実情や地域の実態をふまえて、発達段階に即した道徳の指導の重点を明確にしていく。
- ②9年間を見通して、道徳教育計画の表を完成させる。
- ③小学校間で副読本等の使い方などを協議する。
- ④中学校区で授業を互いに参観するなど、情報交換に努める。